

## 第 12 章 公害の苦情



## 第1節 公害苦情の件数

### 1 公害苦情の件数

令和元年度の公害に関する苦情件数は111件で、前年度よりも30件減少しています（表12-1、図12-1）。

表12-1 年度別公害苦情の件数

年度	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地下水	その他	合計
22	18	49	85	22	51	0	1	5	231
23	8	31	72	10	52	0	1	1	175
24	16	42	74	9	48	0	1	6	196
25	14	34	74	14	50	0	1	8	195
26	11	30	89	7	27	0	0	8	172
27	7	42	86	11	41	0	3	3	193
28	14	42	81	15	61	0	0	6	219
29	10	20	66	10	42	0	1	7	156
30	8	24	54	8	39	0	1	7	141
元	10	12	47	6	31	0	0	5	111

※水質汚濁には油類、へい死魚等を、その他には地盤沈下を含む。

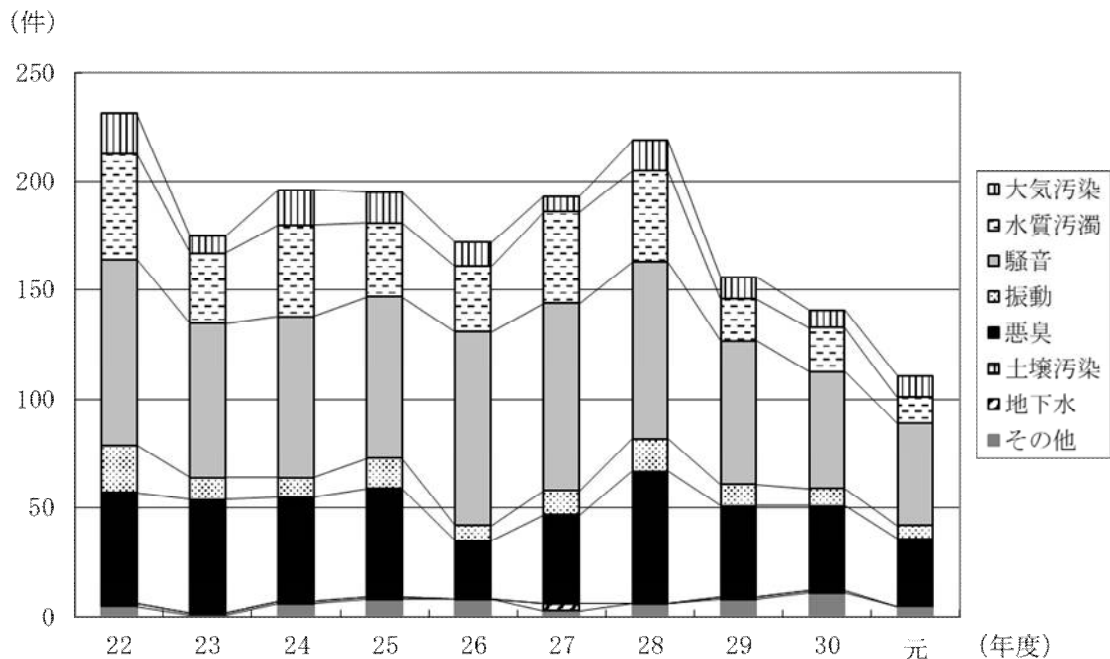


図12-1 年度別公害苦情件数の推移

## 2 種類別の苦情件数

苦情件数を種類別にみると、騒音の苦情が最も多く、以下、悪臭、水質汚濁の順となっています（図12-2）。

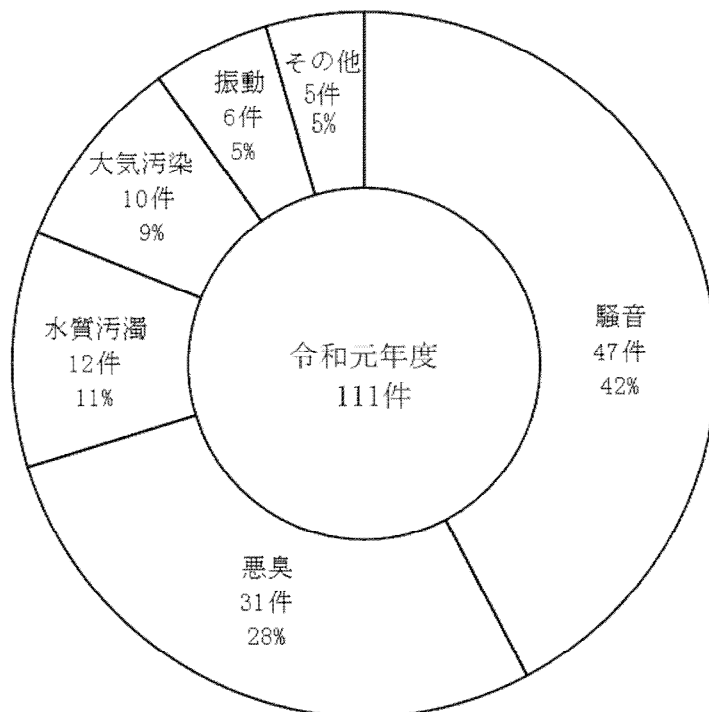


図12-2 種類別苦情件数

## 3 月別の苦情件数

苦情件数を月別にみると4月が最も多くなっています（図12-3）。

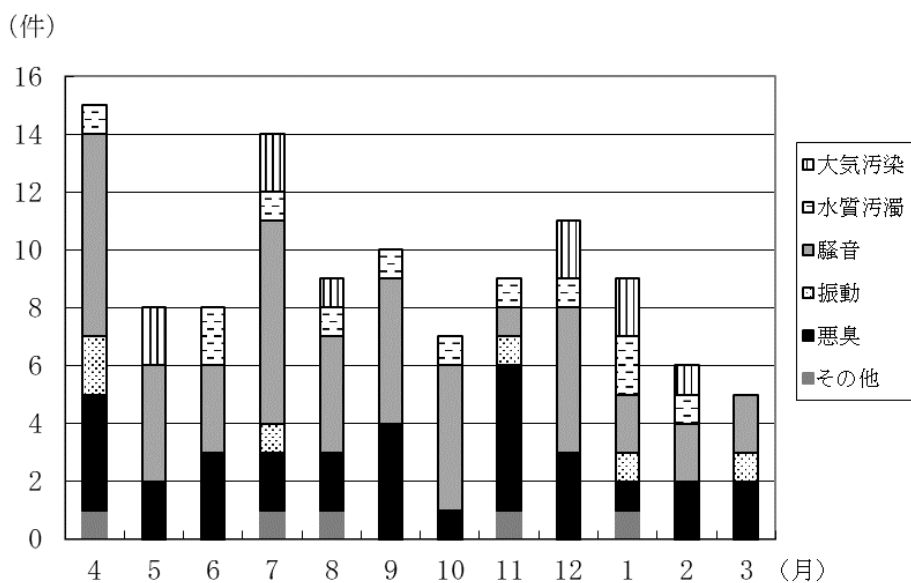


図12-3 月別の苦情件数

#### 4 業種別の苦情件数

苦情発生源者を業種別にみると、苦情件数が最も多かったのは総合工事業の30件で、次いで、家庭生活の14件となっています（表12-2）。

表12-2 発生源の業種別の苦情件数

業種	大気	水質	騒音	振動	悪臭	地下水	その他	合計	
耕種農業									
畜産養蚕農業									
農業サービス業									
林業									
漁業									
金属工業									
石炭原油鉱業									
非金属工業	1							1	
総合工事業	3	3	16	6			2	30	
その他工事業			4					4	
製 造 事 業 所	食料品製造業	1		1		2		4	
	繊維工業								
	木材製造業								
	パルプ製造業								
	出版関連産業								
	化学工業								
	石油製造業								
	プラスチック製造業								
	ゴム製造業								
	窯業等製造業								
	鉄鋼非鉄金属			1		1			2
	機械器具製造					2			2
	その他製造業								
	(小計)	1		2		5			8
電気ガス等									
水道業									
鉄道業									
旅客輸送業	1				1			2	
貨物輸送業									
航空運輸業									
その他運輸業									
サ ー ビ ス 業	再生資源卸売								
	卸売・小売業			3				3	
	飲食業		1	2		4		7	
	飲食店のカラオケ			6				6	
	洗濯理容業等	1		1		1		3	
	駐車業								
	生活関連サービス								
	旅館等			1		1		2	
	娯楽業								
	娯楽業のカラオケ			1				1	
	ゴルフ場業等								
	自動車整備業					1		1	
	機械修理業								
	専門サービス業								
廃棄物処理業									
医療業等			1				1		
社会保険福祉			2				2		
教育等									
その他サービス業			1				1		
(小計)		2	18		7			27	
公務		1			1			2	
家庭生活	1	1			10		2	14	
家庭生活ペット									
事務所									
道路									
空地									
公園									
神社寺院等			1					1	
その他	2	1	5		4		1	13	
不明	1	4	1		3			9	
合計	10	12	47	6	31	0	5	111	

## 5 用途地域別の苦情件数

苦情の発生源を用途地域別にみると、苦情件数が最も多かったのは住居地域の51件で、次いで商業地域の19件となっています（表12-3）。

表12-3 用途地域別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
住居区域	2	4	22	4	17	2	51	45.9
近隣商業	3	1	4		2		10	9.0
商業	2	1	11	1	2	2	19	17.1
準工業			2		1		3	2.7
工業	1						1	0.9
工業専用					1		1	0.9
調整区域		2	4	1	2		9	8.1
その他	2	4	1		4	1	12	10.8
特定できず			3		2		5	4.5
合計	10	12	47	6	31	5	111	100

## 6 被害の種類別の苦情件数

苦情原因を被害の種類別にみると、苦情件数が最も多かったのは感覚・心理的の99件で、次いで健康の11件となっています（表12-4）。

表12-4 被害の種類別公害苦情件数

	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計	比率%
健康		3	5		1	2	11	9.9
財産						1	1	0.9
動物・植物							0	0.0
感覚・心理的	10	9	42	6	30	2	99	89.2
その他							0	0.0
合計	10	12	47	6	31	5	111	100

## 第2節 公害苦情の概況

### 1 大気汚染

苦情件数は10件で前年度より2件増加しました（図12-4）。

粉じんに関するものが6件となっています。

建設作業中の散水不足による粉じん被害が3件と多く、施工業者への周知及び指導を行っています。

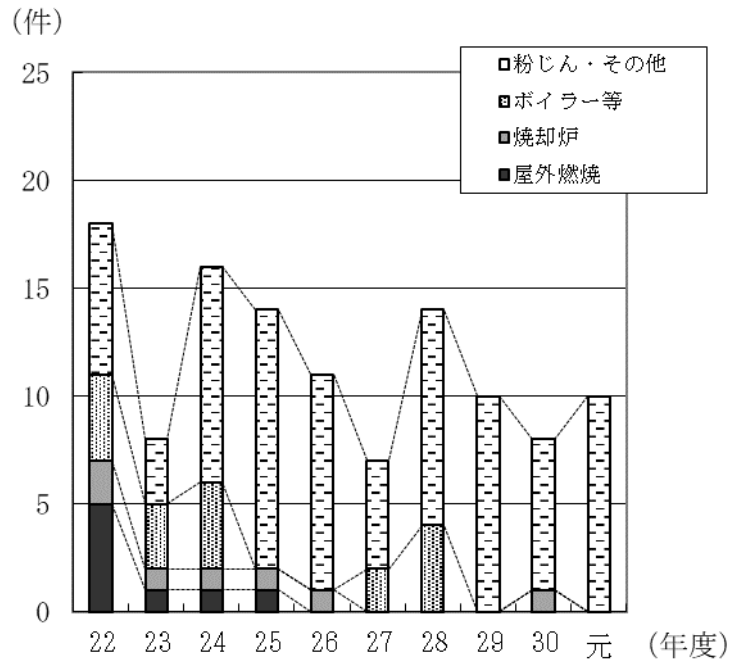


図12-4 大気汚染苦情内訳

### 2 水質汚濁

苦情件数は12件で前年度より12件減少しました（図12-5）。

種類としては、汚水10件、油流出2件となっています。

河川汚濁事故対策としては、発生源に対する汚水処理の適正指導、汚濁物質の取扱い事業所に対する文書指導、広報紙による意識啓発等を行っています。

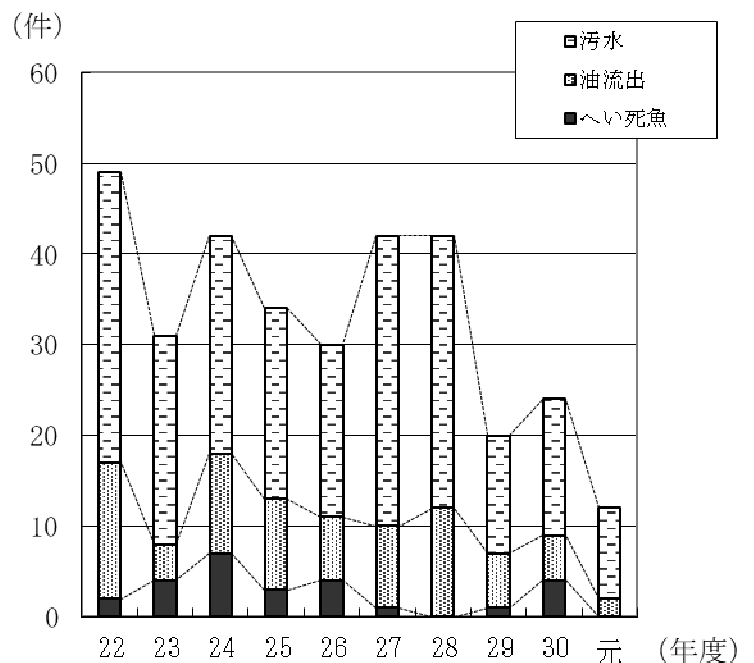


図12-5 水質汚濁苦情内訳

### 3 騒音

苦情件数は47件で前年度より7件減少しました（図12-6）。

発生源としては、工場・事業場等8件、建設作業20件、営業騒音10件、拡声機放送2件、その他自動車や家庭生活等7件となっています。

聞く人の身体や心理の状態、聞く時間や周囲の状況によってうるさく感じる度合いが異なり、また、個人の感情面にも左右される要素があります。

さらに、発生源と苦情申立者が隣接しているにもかかわらず、当事者間での話し合いが持たれる前に、苦情として市に申し立てられることが多く、隣人同士のコミュニケーション不足も都市・生活型公害が増加する大きな要因となっています。

現代の都市形態の中で、快適な暮らしを維持していくためには、自分自身の生活だけでなく、他人の生活への配慮が必要です。

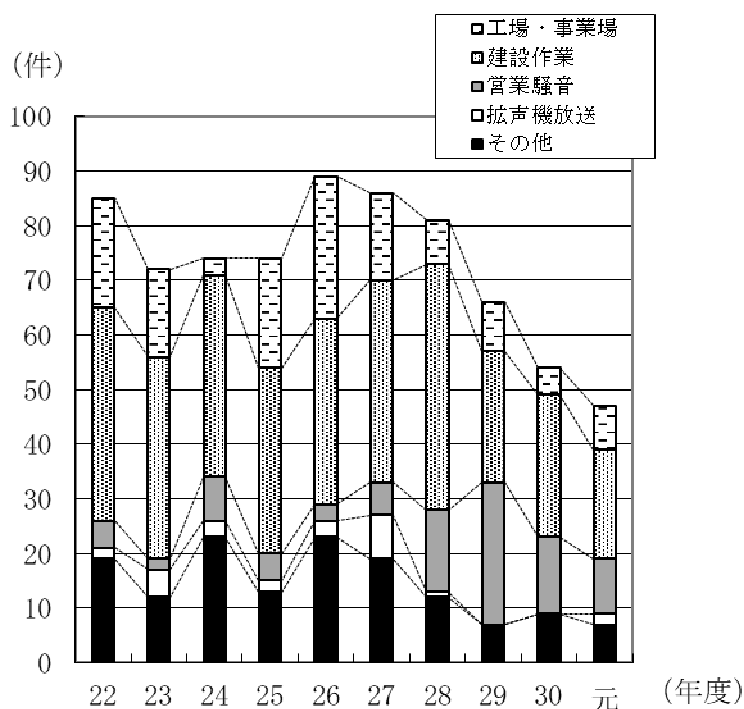


図12-6 騒音苦情内訳

### 4 振動

苦情件数は6件で前年度より2件減少しました（図12-7）。

発生源の内訳は、建設作業5件、道路1件となっています。

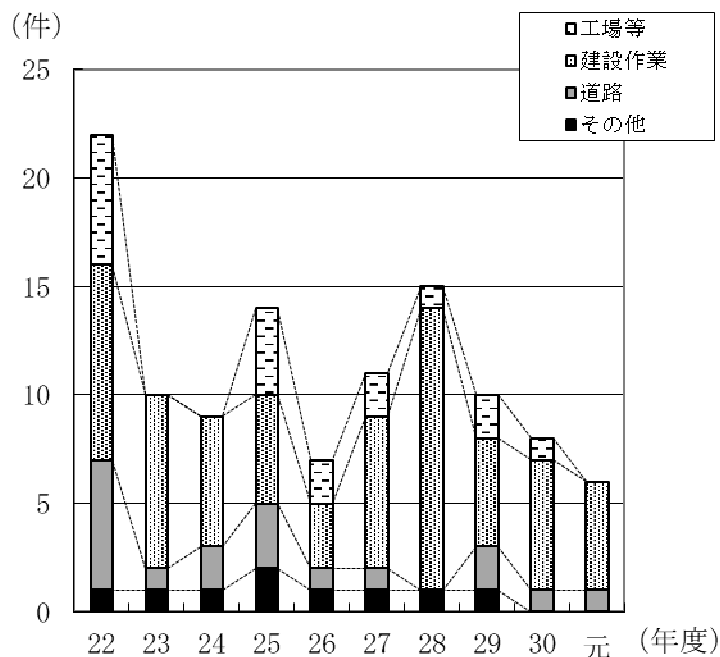


図12-7 振動苦情内訳



## 5 悪臭

苦情件数は31件で前年度より8件減少しました。主な苦情発生源（要因）は、工場・事業場10件、塗料5件、家庭生活11件などとなっています（図12-8）。

飲食店からの悪臭の苦情が多くなっています。また、クレゾールの使用に関する苦情や家庭ゴミの臭いに関する苦情など、騒音苦情同様、当事者間のコミュニケーション不足による申立てが増加しています。

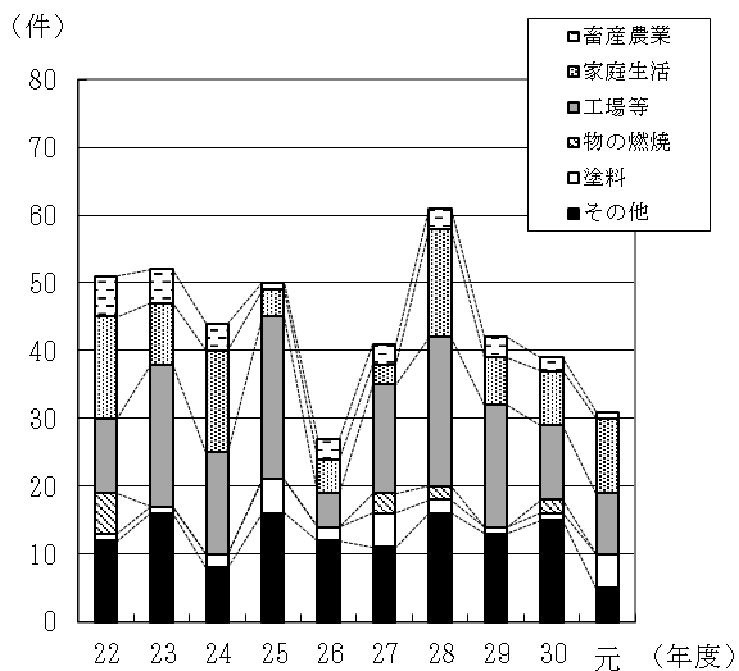


図12-8 悪臭苦情内訳